

事例項目	01 障害の特性理解・実態把握 02 個に関する指導 05 学校体制づくりのサポート
概要	肢体不自由がある生徒の入学に関わる相談（支援方法等について）
事例提供校	高校： 東部地区 全日制 特支： 東部特別支援学校伊東分校

事例の内容	高校からのリクエスト
	<ul style="list-style-type: none"> ・当該高等学校の管理職（校長からの依頼の後、副校長が来校）から、「入学希望の中学生に、事故による重度の身体障害（脊髄損傷と思われる）者がいます。合格し入学する場合、結果発表後の短期間では準備が間に合わないため、合格・入学した場合の、支援方法、介助のための要員について相談にのってほしい」と依頼しました。 ・高校は移転統合を控えるが、令和5年度においては、現校舎を使用するため、エレベーターなどがなく、教室移動やトイレ使用時などに頻繁な介助が必要と考えられます。
	特別支援学校からの支援・助言（センター的機能の活用）

	<ul style="list-style-type: none"> ・当該校の校舎同様、エレベーターがない状態で、特別支援学校においても児童生徒の教室移動に対応しています。また、高校併置の特別支援学校でもエレベーターがなく、スロープも一部しか設置されない状況で車いすの生徒を支援しました。階段昇降時の車いす介助の方法や段差の移動方法、階段で使用したキャタピラ付き可搬階段昇降機などについて説明し、対象者の障害状況を確認しながら、他に必要な支援内容を想定し、意見交換しました。 ・管理職からは、そのような支援経験がある職員の確保についても相談があったため、必要な技能や要件についてアドバイスしました。
--	--

センター的機能を活用した感想	高校 担当者のコメント
	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の経験を下にした情報が得られて良かったです。入学後も相談が必要になる可能性があるため、今後とも支援をお願いしたいです。
	特別支援学校 担当者のコメント

	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後の支援についても必要に応じて相談にのる旨了解すると共に、肢体不自由教育に豊富な経験と知識をもつ東部特別支援学校本校の紹介もしました。 ・今後、校内での支援にとどまらず、進路選択などについても情報交換できると互いにとって意義があると考えます。
--	---

まとめ
<p>肢体不自由生徒に対する具体的な支援が理解され、実践された。これらにより教職員の不安感もいくらか払しょくされたように思う。高校生活に不安を感じていた生徒もいくらかは安心できたとい報告もある好事例である。今回の支援を機会に、両校の関係が継続し、生徒に対する支援が継続していくことが望ましい。</p>

※具体的な支援内容については、当該校にお問い合わせください。